

平成27年度

岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

資 料

平成27年4月20日（月）
ピュアリティまきび 「橘」

目 次

I 平成 26 年度の取組実績について

1 会議の開催	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 重点取組事業		
(1) おかやま・もったいない運動の推進	・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3 その他普及啓発事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	13

II 平成 27 年度の取組（案）について

1 会議の開催	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
2 重点取組事業		
(1) おかやま・もったいない運動の推進	・・・・・・・・・・・・・・・・	14
(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施	・・・・・・・・・・・・・・・・	17
3 その他普及啓発事業	・・・・・・・・・・・・・・・・	20

I 平成 26 年度の取組実績について

1 会議の開催

平成 26 年度岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議に係る会議を次のとおり開催した。

(1) 第 1 回ワーキング会議

ア 日 時 平成 26 年 4 月 14 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
イ 場 所 岡山衛生会館 第 3 会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成 25 年度の取組実績について
・平成 26 年度の取組 (案) について

(2) 本会議

ア 日 時 平成 26 年 4 月 21 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
イ 場 所 ピュアリティまきび 2 階 「白鳥」
ウ 出席者 委員、事務局
エ 議 題 ・平成 25 年度の取組実績について
・平成 26 年度の取組 (案) について 他

(3) おかやま・もったいない! 小学生ポスター (絵画) コンクール審査選考会

ア 日 時 平成 26 年 10 月 6 日 (月) 18 : 00 ~ 20 : 00
イ 場 所 岡山衛生会館 5 階 中ホール
ウ 出席者 審査員 1 名

(4) おかやま・もったいない! 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

ア 日 時 平成 26 年 10 月 3 日 (金) 9 : 30 ~ 12 : 00
イ 場 所 県庁 9 階環境文化部会議室
ウ 出席者 審査員 4 名

(5) 第 2 回ワーキング会議

ア 日 時 平成 27 年 1 月 29 日 (木) 13 : 30 ~ 15 : 30
イ 場 所 県庁 9 階環境文化部会議室
ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
エ 議 題 ・平成 26 年度の取組実績について
・平成 27 年度の取組 (案) について

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた3R（発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル））と地球温暖化防止についての県民一人ひとりの意識改革と実践活動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を次のとおり推進した。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

6月の環境月間及び10月の3R推進月間中に、県内3県民局が管内市と協働で開催した。

<6月>

- ぐらしき環境フェスティバル
日 時：平成26年6月7日（土曜日） 9時30分～16時
場 所：水島愛あいサロン [倉敷市水島東千鳥町1-50]
内 容：講演会、体験コーナー、展示コーナー、クイズラリー
来場者数：3,000人
- 環境フェスタ in せとうち
日 時：平成26年6月8日（日曜日）10時～14時
場 所：ゆめとぴあ長船 [瀬戸内市長船町土師277番地4]
内 容：手作り体験コーナー、バザー、資源ごみ回収
来場者数：約450人

<10月>

- もったいないフォーラム in 真庭
日 時：平成26年10月5日（日曜日）10時～16時
場 所：勝山文化センター [真庭市勝山319]
内 容：講演会、事例発表、ワークショップ、展示コーナー等
来場者数：約300人
- ぐるりんクルクル～省資源・省エネルギー展～
日 時：平成26年10月19日（日曜日）9時30分～15時
場 所：道の駅みやま公園 [玉野市田井2丁目4464]
玉野市リサイクルプラザ [玉野市槌ヶ原3072-1]
内 容：もったいない料理セミナー、展示コーナー、体験コーナー、スタンプラリー 等
来場者数：約3,000人
- 環境フェア in たかはし2014
日 時：平成26年10月25日（土曜日）11時～15時
場 所：高梁総合文化会館 [高梁市原田北町1212]
内 容：体験コーナー、展示コーナー、スタンプラリー 等
来場者数：約600人

イ おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクール

県内の小学校に在学する児童を対象に「もったいない」をテーマとした（ごみの減量化、3R推進等）ポスター（3年生以上）や絵画（1,2年生）を募集し、優秀作品を表彰した。

- 応募数 75校、744作品
- 受賞者 岡山県知事賞3名、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞3名、岡山県環境文化部長賞9名、優秀賞15名

ウ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト

県内の小学校、小学生とその家族を対象に、夏休みを中心とした期間に家庭でできる「3R推進」や「地球温暖化防止」に向けた取組にチャレンジした報告を募集し、優秀な取組を表彰した。

- 応募数 15校、336点
- 受賞者 個人の部（最優秀賞1名、優秀賞5名、努力賞10名）
団体の部（最優秀賞1校、優秀賞3校）

※ 表彰式

- 日時： 平成26年11月9日（日）10時30分～11時40分
- 場所： 岡山県生涯学習センター 情報・創作棟 2階大研修室
- 参集者： 主催者、受賞者、保護者等 約100名
- 内容： 主催者挨拶、表彰状授与、講評、記念撮影 等

※ 作品展示会

平成26年度の受賞作品について、県内3箇所で開催した。

- 岡山会場
展示期間： 平成26年11月5日（水）～14日（金）
展示場所： 岡山県生涯学習センター 展示スペース
- 倉敷会場
展示期間： 平成26年11月19日（水）～25日（火）
展示場所： ゆめタウン倉敷店 2階
- 津山会場
展示期間： 平成26年12月2日（火）～8日（月）
展示場所： イオン津山店 1階

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デーの取組について

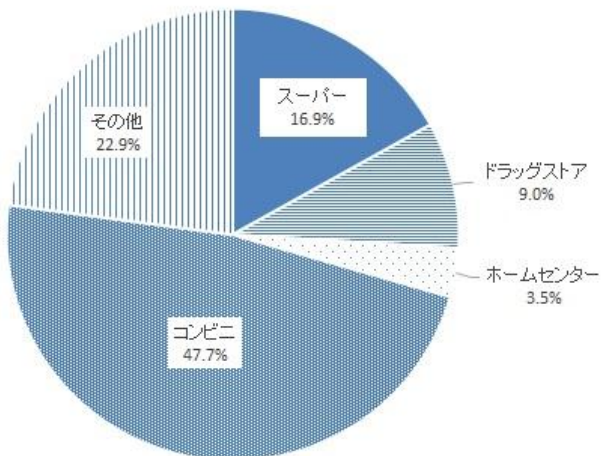
(ア) 参加店舗の現状

現在の参加店舗数は、1,525店舗（平成27年4月1日現在）で、昨年度同期の1,490店舗に比べ35店舗増加している。

内訳は、チェーン店などのグループ店が 1,301 店舗（85.3%）、個人の小売店が 224 店舗（14.7%）で、業態別では、スーパーマーケットが 258 店舗（16.9%）、ドラッグストアが 138 店舗（9.0%）、ホームセンターが 53 店舗（3.5%）、コンビニエンスストアが 727 店舗（47.7%）、その他が 349 店舗（22.9%）となっている。

市町村別では、新庄村、西栗倉村以外の 25 市町に参加店があり、岡山市が 38.8%と一番多く、次いで倉敷市が 22.0%、津山市が 7.2%となっている。

<業態別内訳>



<市町村別内訳（上位 10 位）>

	市町村名	店舗数	構成比
1	岡山市	592	38.8%
2	倉敷市	335	22.0%
3	津山市	110	7.3%
4	新見市	53	3.5%
5	真庭市	47	3.1%
6	赤磐市	42	2.8%
7	総社市	40	2.6%
8	玉野市	39	2.6%
9	瀬戸内市	34	2.2%
10	笠岡市	31	2.0%

(イ) レジ袋辞退率の推移

平成 27 年 2 月の平均辞退率は 26.6%で、4 月～2 月までの辞退率は、24%台～26%台となっている。

実施日	H26. 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H27. 1月	2月
平均辞退率 (%)	26.1	25.8	25.9	25.4	24.6	25.9	26.5	25.9	25.3	26.5	26.6
スーパーマーケットの辞退率 (%)	26.5	26.4	27.3	26.2	26.0	26.3	26.5	25.7	26.3	26.5	27.4

(ウ) 普及啓発の状況

平成 26 年度は、若い世代へ働きかける各種啓発を行った。

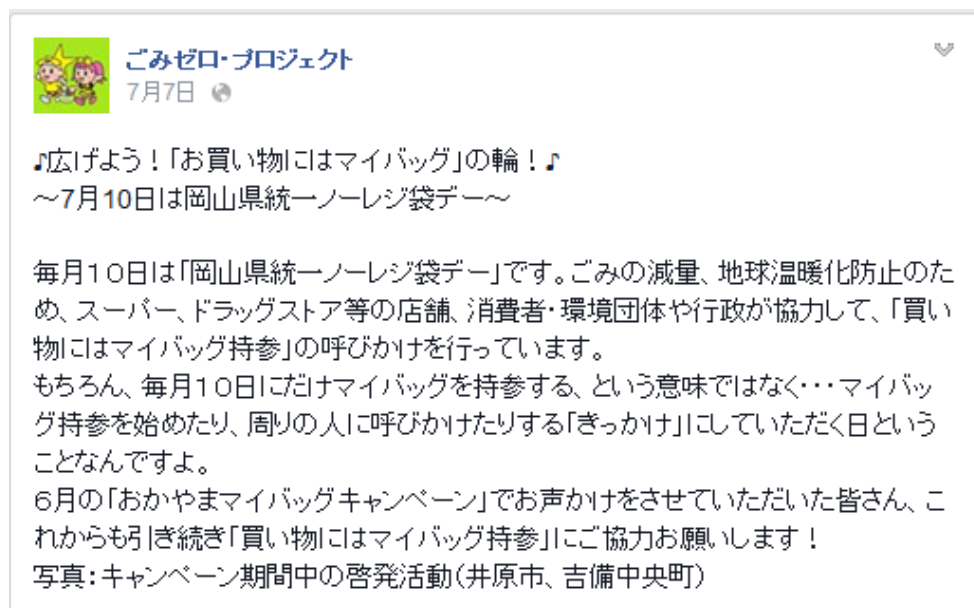
- ・幼稚園児と保護者・・・マイバッグチャレンジャー事業を実施した。（③参照）
- ・高校生・・・県立岡山東商業高等学校「東商デパート」のポスターへの呼びかけ文使用や、会場でのチラシ配布を依頼した。

- ・大学生・・・「おかやまマイバッグキャンペーン」岡山駅啓発への参加（岡山大学・岡山商科大学）、「マイバッグ・チャレンジ 30」への参加（大学コンソーシアム、岡山大学、吉備国際大学）を呼びかけた。

① テレビ、ラジオ、広報紙等の広報媒体の活用

「岡山県統一ノーレジ袋デー」については、RSK テレビ、RSK ラジオ、FM おかやまでのお知らせ、県政広報資料、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック掲載などにより周知を図った。

○フェイスブック「ごみゼロ・プロジェクト」



② イベントでの普及啓発

巡回エコ製品等普及展示会やおかやま・もったいない運動推進フォーラムで、展示や来場者への啓発品の配布などを行った。

○ おかやま・もったいない運動推進フォーラム



（平成 26 年 6 月 7 日 倉敷市）



（平成 26 年 10 月 25 日 高梁市）

③ マイバッグチャレンジャー事業【新規】

幼稚園児（保護者同伴）を対象にマイバッグを使った買い物体験をする。

● ねらい：

幼稚園児にはマイバッグを使った買い物の仕方を学んでもらうとともに、保護者には「マイバッグ持参」の意義を理解してもらうことで、ごみの減量化、地球温暖化防止等につながる環境にやさしい暮らし方について、家庭で取り組むきっかけとしてもらう。

- 実施日：平成 26 年 7 月 10 日（木） 13 時 45 分～14 時 30 分
- 場 所：生活彩家岡山県庁店
- 参加者：内山下幼稚園の園児 28 人と同伴の保護者 27 人
- その他：
 - ・エコバッグを参加園児に配布
 - ・買い物体験した園児に、「マイバッグチャレンジャー」証を贈呈



(エ) 啓発資材の作成及び送付

啓発グッズ（のぼり旗、ポスター、ステッカー、チラシ、辞退カード）を、希望する事業者（店舗）、市町村等に送付した。

また、環境学習に取り組む県内の小学校 4 年生約 2 万人にクリアファイルを配布した。

のぼり旗



ポスター



ステッカー



辞退カード



(チラシも同デザイン)

イ おかやまマイバッグキャンペーンの取組について

(ア) 街頭や店頭での普及啓発活動

県循環型社会推進課、各県民局、各市町村などが主体となり事業者（店舗）や環境団体と協働して、6月と11月にJR岡山駅及び県内各参加店舗の店頭等において、チラシ及び啓発品等を配布し、普及啓発活動を実施した。

○ JR岡山駅前（6月10日）

県（備前県民局と合同）・岡山市



○ 新見市（11月17日）



(イ) 新聞、ラジオ、広報紙等などの広報媒体の活用

RSK テレビ、FM おかやま、NHK データ放送、ホームページ、フェイスブック等で「おかやまマイバッグキャンペーン」についてお知らせした。

また、各市町村発行の広報紙等において広報を行った。

○ 広報紙
(矢掛町)

**マイバッグキャンペーン
実施中**

6月は岡山県で「おかやまマイバッグキャンペーン」を実施しています。家庭ごみを少しでも減らすため、買い物にはマイバッグを持参し、レジ袋の受け取りを断るようしましょう。

問町民課住民環境係
☎(82)1011 有線0551

(勝央町)

ご協力ください

**11月はおかやま
マイバッグキャンペーン
期間です**

岡山県では、小売店や給食・調理団体など市町村と協力して、11月17日(水)から18日(木)まで「おかやまマイバッグキャンペーン」を実施します。

このキャンペーンは、レジ袋の削減や新しいレジ袋の削減に貢献しています。エコバッグの持ち歩き、レジ袋の削減に協力をお願いします。エコバッグの持ち歩きは、レジ袋の削減に貢献しています。

日時 11月17日(水) - 18日(木)

場所

- ・コナミ商店
- ・サンイン 勝央駅前店
- ・リバーマート 勝央店

問い合わせ先
勝央町の環境推進係
☎0871-71102

(ウ) 啓発資材の作成及び送付

「おかやまマイバッグキャンペーン」の普及啓発を目的とし、啓発ポスターを作成するとともに参加事業者（店舗）及び市町村等に送付した。

また、「マイバッグ持参」を基調としたチラシ及びティッシュを作成し、市町村等に送付した。

ポスター



チラシ



ポケットティッシュ



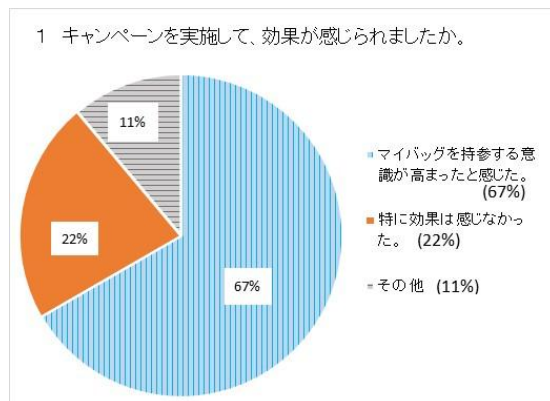
(エ) アンケート結果

市町村及びノーレジ袋デー参加事業者にアンケート調査を実施した結果は次のとおりだった。（回答数：市町村 27 事業者 57）

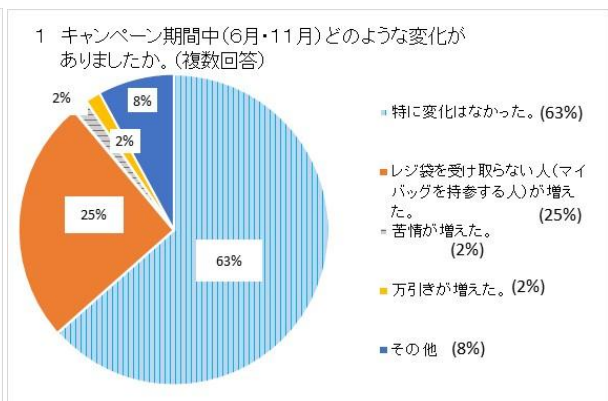
① キャンペーン期間中の変化

キャンペーン期間中の変化については、市町村では「マイバッグを持参する意識が高まった」が67%で最も多かった。一方、事業者では「特に変化はなかった」が63%で最も多かったが、「レジ袋を受け取らない人（マイバッグを持参する人）が増えた」も25%あった。

<市町村>



<事業者>

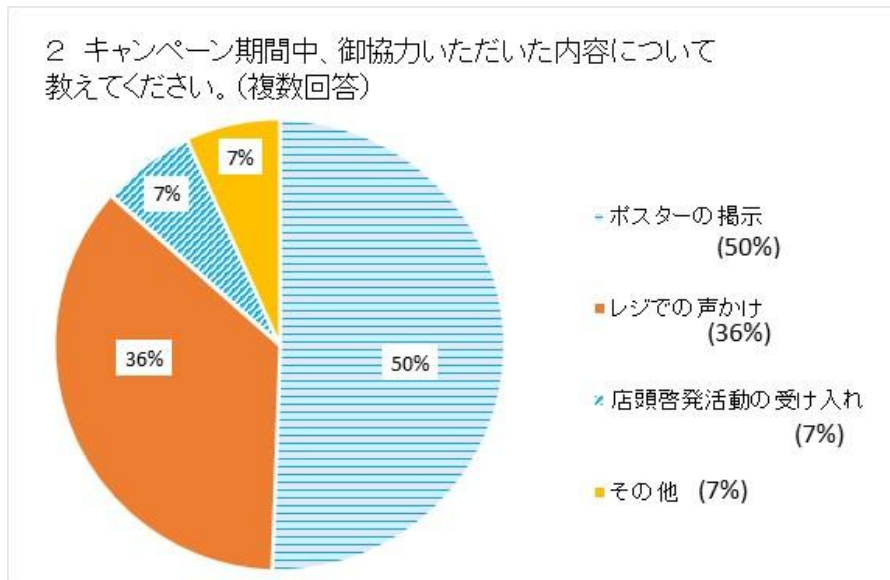


<その他の主な意見>

- ・（市町村）日常的に啓発が必要。キャンペーンとしての特典が必要ではないか。
- ・（事業者）商品に応じてシールやカバンに入れる等定着しているように思う。

② キャンペーン期間中の協力内容（事業者のみ）

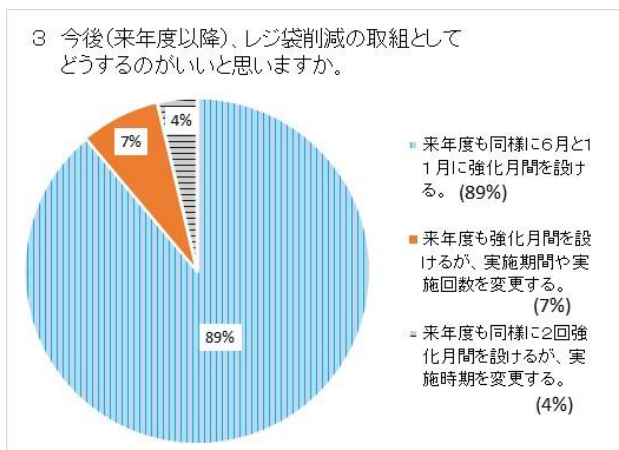
「ポスターの掲示」が50%、「レジでの声かけ」が36%だった。その他としては、店内放送での案内などがあつた。



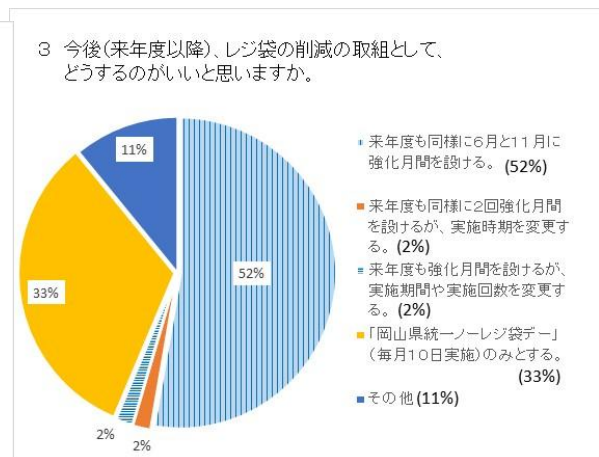
③ 今後のレジ袋削減の取組

今後のレジ袋削減の取組については、「来年度も同様に6月と11月に強化月間を設ける」が市町村は89%、事業者は52%と最も多かつた。事業者では「岡山県統一ノーレジ袋デーのみとする」も33%あつた。

<市町村>



<事業者>



<その他の主な意見>

(市町村) 年1回6月がよい。 6月と10月がよい。

(事業者) 1か月間がよい(8月、10月)。1年中でよい。

(オ) 関連事業：マイバッグ・チャレンジ30の実施

11月の「おかやまマイバッグキャンペーン」の期間中に実施した。

125グループ918人が参加し、総レジ袋辞退回数は、9,960回だった。

参加者からは、この機会にマイバッグ持参が習慣となった、グループで参加することで楽しく取り組めた、との感想が多く寄せられた。（資料1）

● 目 的：

レジ袋の削減効果を数字で表し「見える化」することで、マイバッグ持参による買い物習慣の定着を図るとともに、グループ単位でレジ袋削減の取組を促すことで、ごみの減量化、環境保全及び環境にやさしい生活スタイルへの見直しを推進する。

● 主 催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

● 参加資格：岡山県内に在住又は勤務している方のグループ（2人以上）

● 実施期間：平成26年11月1日（土）～11月30日（日）

● 実施方法：

参加者は、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストア等での買い物回数、レジ袋を辞退した回数を記録し、期間終了後、グループ内のレジ袋辞退回数等を集計して事務局に報告する。

● そ の 他：事前登録時、先着100グループにエコバッグをプレゼント

ウ マイバッグ持参率等アンケート調査について

マイバッグ持参率等を把握するため、平成27年2月～3月に、県内10店舗で実施することとし、株式会社東京商工リサーチ岡山支店に委託して実施した。

（資料2）

*H25年度からの変更点

- 県内人口構成を勘案したサンプル数とするため、調査店舗として、ザ・ビッグ倉敷店（倉敷市）を追加した。
- 調査項目にマイバッグを持って行かない理由を追加し、レジ袋1袋当たりの値段の項目を削除した。

(ア) 調査数 合計3,000人(1店舗につき300人)

(イ) 調査方法 買物客への聞き取り調査又は直接記入

(ウ) 調査結果

ノーレジ袋デーの認知率 56.1%（平成25年度：59.6%）

マイバッグ持参率 46.2%（平成25年度：44.5%）

*マイバッグを持っている人だけを分母とした場合の上記比率は57.5%

レジ袋が有料になった場合「マイバッグを持っていく」と答えた人の割合
73.9%（平成25年度：79.9%）

「有料化している店舗をどう思うか」

賛成 28.9%（平成25年度：33.0%）

仕方がない 62.7%（平成25年度：60.2%）

合計 91.6%（平成25年度：93.2%）

エ 県内のレジ袋無料配布中止の状況について

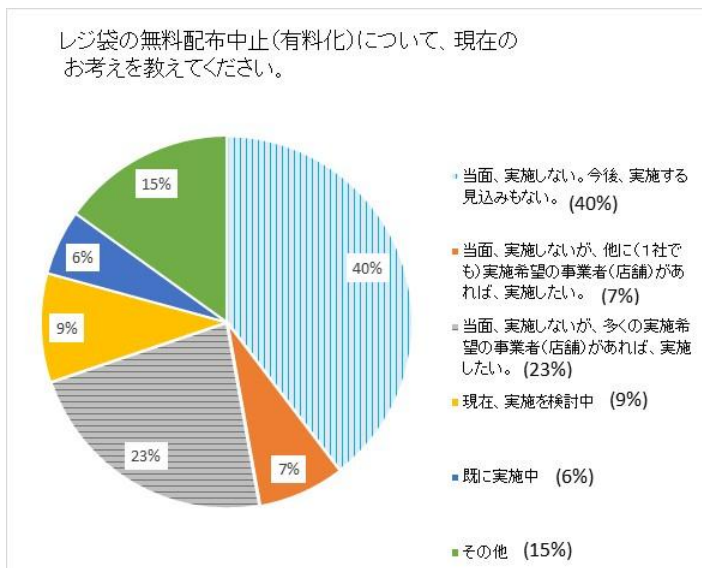
(ア) 実施状況

現在、レジ袋無料配布中止を実施しているのは、19 事業者 36 店舗である。
(県把握分、試行も含む。)

(イ) 無料配布中止(有料化)に関するアンケートの集計結果

事業者にアンケート調査をしたところ、次のとおりだった。

有料化(無料配布中止)への意見については、「当面、実施しない。今後、実施する見込みもない」が40%と一番多く、「多くの参加希望の事業者(店舗)があれば実施したい」が23%、「他に(1社でも)参加希望の事業者(店舗)があれば実施したい」が7%となっている。



<その他の主な意見>

- ・ スーパーだけでなく、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ホームセンター等と足並みがそろえば実施したい。
- ・ スーパー全店で取り組むのであれば。

市町村別レジ袋無料配布中止店舗一覧

* 平成 27 年 1 月 1 日現在

市町村名	事業者名	店舗名	備考
岡山市	イオンリテール(株)	イオン岡山店	1 枚 LL5 円、L3 円
	(株)イトーヨーカ堂	イトーヨーカドー岡山店	1 枚 2 円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ大野辻	1 枚 5 円(募金方式)
		コープ大福	
		コープ西大寺	
		コープ東川原	
	コープ福富		
エコロジー&ナチュラルフーズ らんらん亭	—	1 枚 金額任意(募金方式)	

市町村名	事業者名	店舗名	備考
倉敷市	イオンリテール(株)	イオン倉敷店	1枚 LL5円、L3円
	(株)イトーヨーカ堂	イトーヨーカドー 食品館倉敷店	1枚 2円
	大黒天物産(株)	ディオ真備店	1枚 5円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ北畝 コープ倉敷北	1枚 5円(募金方式)
津山市	イオンリテール(株)	イオン津山店	1枚 LL5円、L3円
	大黒天物産(株)	ラ・ムー津山店	1枚 5円
	生活協同組合おかやまコープ	コープ林田	1枚 5円(募金方式)
総社市	生活協同組合おかやまコープ	コープ総社東	1枚 5円(募金方式)
備前市	(株)ヒナセショッピングセンタ ー	旬鮮食彩館 パオーネ日生店	1枚 (大)5円 (小)3 円
赤磐市	生活協同組合おかやまコープ	コープ山陽	1枚 5円(募金方式)
浅口市	生活協同組合おかやまコープ	コープ鴨方	1枚 5円(募金方式)
和気町	(有)H&O	サエキストアー	1枚 5円
	岡山東農業協同組合	JAグリーン和気店	1枚 5円
		JAグリーン佐伯店	
		和気営農物流センター	
	オプタイムおか	ー	1枚 5円
	グリーンストアーさわだ	ー	1枚 5円
	(株)コメリ	コメリハードアンドグリーン 和気店	1枚 5円
	佐伯農産物直売所	ー	1枚 5円
	(株)太陽コーポレーション	サンモール店	1枚 5円
	(株)天満屋ハッピーマート	ハッピーマート和気店	1枚 5円
	(有)林薬局	林薬局	1枚 5円
(有)ビッグモリーズ	ビッグモリーズ	1枚 5円	
マックスバリュ西日本(株)	ザ・ビッグ和気店	1枚 5円	
吉備中央 町	(株)三穂の郷	ミホプラザ	1枚 2円

*平成26年12月1日から試行

岡山市	(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライア ル東岡山店	1枚 3円
倉敷市	(株)トライアルカンパニー	スーパーセンタートライア ル児島店	1枚 3円

3 その他普及啓発事業

(1) 岡山エコ事業所認定制度の普及啓発

事業所における排出抑制、グリーン調達の促進等を図るため、岡山エコ事業所認定制度（ゼロエミッション事業所、一般事業所、小売店）の周知を図るとともに認定を実施した。

○ 認定件数（平成 27 年 3 月 31 日現在）	274 事業所
・ 排出抑制、再利用に取り組む「ゼロエミッション事業所」	56 事業所
・ 再生品を使用する「一般事業所」	42 事業所
・ 再生品等を販売する「小売店」	176 事業所

(2) 岡山県エコ製品認定制度の普及啓発

再生品の需用を喚起し、資源の循環的な利用を促進するため、岡山県エコ製品認定制度の普及啓発に努めるとともに認定を行った。

○ 認定件数（平成 27 年 3 月 31 日現在）	374 製品
----------------------------	--------

*巡回エコ製品等普及展示会等において、岡山県エコ製品認定制度と岡山エコ事業所認定制度のPRを同時に行った。

ア	くらしき環境フェスティバル（倉敷市）	平成 26 年 6 月 7 日	約 3,000 人
イ	環境フェスタ in 瀬戸内（瀬戸内市）	平成 26 年 6 月 8 日	約 450 人
ウ	親子エコフェスタ 2014（津山市）	平成 26 年 6 月 8 日	約 1,300 人
エ	リサイクルフェア in くらしき 2014（倉敷市）	平成 26 年 10 月 5 日	約 6,000 人
オ	もったいないフォーラム in 真庭（真庭市）	平成 26 年 10 月 5 日	約 300 人
カ	くるりんクルクル～省資源・省エネルギー展（玉野市）	平成 26 年 10 月 19 日	約 3,000 人
キ	環境フェア in たかはし 2014（高梁市）	平成 26 年 10 月 25 日	約 600 人
ク	未来へつなごう！おかやま ESD ふれあい広場（岡山市）	平成 26 年 11 月 7 日・8 日	
ケ	中四国環境ビジネスネット B-net フォーラム 2014	平成 26 年 11 月 28 日	約 150 人

*常設展示（テクノサポート岡山）

- (ア) 展示期間 平成 25 年 7 月～
- (イ) 展示場所 テクノサポート岡山 1F（アルコープ）展示室
（岡山市北区芳賀 5301）

*その他、県のホームページへの掲載、新聞紙面（山陽新聞朝刊）による広報、普及啓発パンフレットの作成、配布等の各種広報を行った。

II 平成 27 年度の取組(案)について

1 会議の開催(予定)

(1) 第1回ワーキング会議

- ア 日 時 平成 27 年 4 月 13 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
- イ 場 所 県庁 9 階 環境文化部会議室
- ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
- エ 議 題
 - ・平成 26 年度の取組実績について
 - ・平成 27 年度の取組 (案) について

(2) 本会議

- ア 日 時 平成 27 年 4 月 20 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 30
- イ 場 所 ピュアリティまきび 3 階 「橘」
- ウ 出席者 委員、事務局
- エ 議 題
 - ・平成 26 年度の取組実績について
 - ・平成 27 年度の取組 (案) について 他

(3) おかやま・もったいない! 小学生ポスター (絵画) コンクール審査選考会

- ア 日 時 平成 27 年 10 月初旬
- イ 場 所 岡山市内
- ウ 出席者 審査員 2 名

(4) おかやま・もったいない! 小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト審査選考会

- ア 日 時 平成 27 年 10 月初旬
- イ 場 所 岡山市内
- ウ 出席者 審査員 4 名

(5) 第2回ワーキング会議

- ア 日 時 平成 28 年 1 月下旬
- イ 場 所 岡山市内
- ウ 出席者 委員、岡山市、倉敷市、事務局
- エ 議 題
 - ・平成 27 年度の取組実績について
 - ・平成 28 年度の取組 (案) について

(6) レジ袋削減検討会 必要に応じて開催する。

2 重点取組事業

(1) おかやま・もったいない運動の推進

「もったいない」をキーワードとして、循環型社会の形成に向けた 3R (「発生抑制 (リデュース)」、「再使用 (リユース)」、「再生利用 (リサイクル) 」) についての県民一人ひとりの意識改革と実践行動を促すため、「おかやま・もったいない運動」を実施しており、平成 27 年度は次の取組を行う。

ア 「おかやま・もったいない運動」推進フォーラムの開催

- 目的：

「循環型社会形成（もったいない）」をテーマに、県民が日常生活の中で実践できることを講演、活動事例発表、パネルディスカッション等を通じて提示するとともに、県の3R関連施策や環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容について展示するブースを設置することにより、広く情報の発信・収集・交換を図るイベントとする。

3県民局ごとに実施する「環境保全普及啓発事業」に併せて実施する等地域の状況に応じた内容で実施する。

- 開催時期：平成27年6～12月（予定）

- 会場：3県民局管内各1箇所（予定）

- 参加者：県民、消費者・環境団体、事業所、行政職員等

プログラム（例）

- ・基調講演：講師（全国的な知名度があり、造詣が深い人）

- ・活動事例発表：「もったいない」の取組を実践している団体・学校、企業

- ・展示コーナー：

岡山県エコ製品、岡山エコ事業所、3R、マイバッグ運動等の県の施策とともに、環境団体（NPO法人、地域団体、学校等）の活動内容を展示・紹介するブースを設ける。また、ポスター及びエコチャレンジコンテストの優秀作品等を展示する。

イ おかやま・もったいない！小学生ポスター（絵画）コンクールの開催（資料3）

- 目的：

もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象としたポスター（絵画）コンクールを実施する。

- 主催等（予定）

主催：岡山県、岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議

共催：公益財団法人岡山県環境保全事業団

後援：岡山県教育委員会

- 対象者：県内の小学校に在学する児童（全学年）

- 応募内容：

ごみの減量化など「もったいない」を推進するポスター（絵画）

1・2年生は絵画、3年生以上はポスター（必ず呼びかけの言葉を入れる）

- 募集方法：5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付

- 応募期限：平成27年9月14日（月）

- 表彰：
 - 3部門（低学年の部、中学年の部、高学年の部）ごとに選考
 - ・ 知事賞 各部門1名 計3名 表彰状・副賞（5千円相当）
 - ・ 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議会長賞
 - 各部門1名 計3名 表彰状・副賞（3千円相当）
 - ・ 環境文化部長賞 各部門3名 計9名 表彰状・副賞（3千円相当）
 - ・ 優秀賞 各部門5名 計15名 表彰状・副賞（2千円相当）
 - ・ 参加賞 応募者全員
- 選考方法：小学校教諭による審査の上、決定
- 表彰式：11月に岡山市内で行う。
 - *優秀作品については、県内3箇所程度で展示会場を設ける。

ウ おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテストの開催 （資料4）

- 目的：
 - もったいない精神の普及、3Rに対する意識の高揚、再生品の使用促進を図るため、小学生を対象として家庭で3Rや地球温暖化防止に向けた取組を行うコンテストを実施する。
- 主催等（予定）：
 - 主催：岡山県・岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議
 - 共催：地球温暖化防止プロジェクト推進会議、公益財団法人岡山県環境保全事業団
 - 後援：岡山県教育委員会
- 対象者：県内に住んでいる小学生とその家族
- 募集方法：5月下旬頃、県内全小学校に募集案内を送付
- 応募期限：平成27年9月14日（月）
- 取組内容：
 - 平成27年8月31日までの1週間、小学生とその家族が、買物、食事、入浴など家庭での日常生活を通じて、ごみの減量や省エネ等に向けた改善策を工夫し実践する。
 - （A）ごみゼロチャレンジ…買物や食事など、日常生活を通じた3Rに向けた取組
 - （B）温暖化防止チャレンジ…電気や水の節約など、温暖化防止の取組
- 応募方法：取組結果を報告用紙に記入の上、提出

- 表彰：
 - (個人の部)
 - ・最優秀賞 1名 表彰状・副賞（5千円相当）
 - ・優秀賞 5名 表彰状・副賞（3千円相当）
 - ・努力賞 10名 表彰状・副賞（2千円相当）
 - ・参加賞 応募者全員
 - (団体の部)
 - ・最優秀賞 1学校 表彰状・副賞（1万円相当）
 - ・優秀賞 若干 表彰状・副賞（5千円相当）
- 選考方法：
 - 岡山県ごみゼロ社会プロジェクト推進会議委員代表による選考委員会において審査の上、決定
- 表彰式：11月に岡山市内で行う。

(2) マイバッグ運動・レジ袋削減事業の実施

ア 岡山県統一ノーレジ袋デー

毎月10日を岡山県統一ノーレジ袋デーとして、マイバッグを持参し、レジ袋を受け取らないようにする運動を全県的に実施する。

- 事業者の役割
 - ・レジ精算時に「声かけ」を行い啓発する。
 - ・店頭などに、のぼり旗、ポスター等を掲出して啓発する。
 - ・「ノーレジ袋デー」当日のレジ袋辞退率を算定し、県に報告する。
- 消費者・環境団体等の役割
 - ・店舗の店頭等で、「声かけ」、「チラシ配布」などの啓発活動を行う。
- 行政（県・市町村）の役割
 - ・広報紙やポスター等の啓発資材により広報・啓発する。（県・市町村）
 - ・消費者・環境団体等が行う店頭啓発活動を支援する。（市町村）
 - ・統一的な啓発資材（のぼり旗、ポスター等）を作成し、配布する。（県）
 - ・事業者から報告されたレジ袋辞退率をとりまとめて公表する。（県）

イ おかやまマイバッグキャンペーン

県、各市町村が主体となり、消費者・環境団体、事業者（店舗）と協力して、街頭や店頭でのレジ袋削減の普及啓発活動（PR）を実施する。

- 期間：平成27年6月及び11月
- 場所：街頭（JR等の駅前）や参加事業者（店舗）の店頭など
- 内容：
 - チラシやポケットティッシュ等の啓発グッズを配布するなど普及啓発活動（PR）を行い、一般県民（住民）に協力を呼びかける。

- 事業者（店舗）
行政からの要請があれば、店頭の一部を無料で提供
声かけ、ポスター掲示等の協力
- 消費者・環境団体等
行政からの要請があれば、啓発活動（PR）に協力
- 行政（県・市町村）
 - ・ 広報紙などへの掲載（文例は県で作成し、市町村へ提供）
 - ・ PRを行う場所の選定及び調整
 - ・ 街頭や店頭等での普及啓発活動
 - ・ 消費者・環境団体等が行う啓発活動の支援
 - ・ 普及啓発活動（PR）のプレス発表

ウ マイバッグ・チャレンジ 30（資料 5）

11 月のおかやまマイバッグキャンペーン期間中に実施する。

エ ファジアーノ岡山と連携した広報

ファジアーノ岡山のホームゲームのうち、「県民応援デー」に環境文化部関係の展示ブースを設置し、来場者の環境問題への関心を高めるとともに、スタンプラリーの景品として啓発品（レジかごサイズのエコバッグ等）を配布する。

実施日：平成 27 年 8 月 8 日（土）予定

オ 若者層への啓発

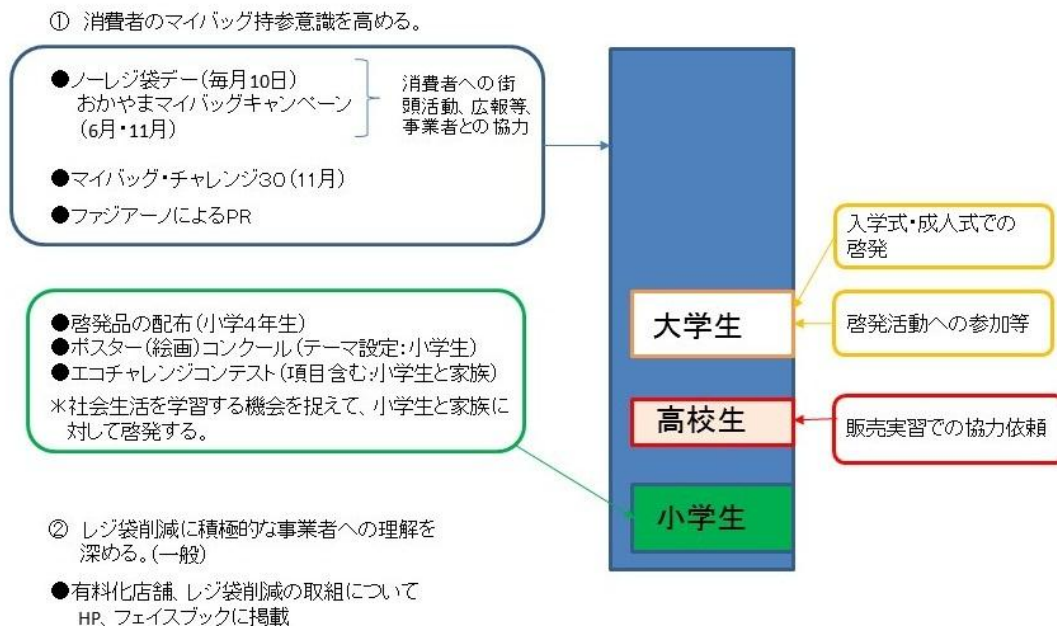
環境学習時や自主的な買い物行動が増えていく時期に「マイバッグ持参」の意識を高める。

- 小学 4 年生への啓発品（マグネット）配布
- 商業高校へ販売実習時の協力依頼
- 街頭啓発、マイバッグ・チャレンジ 30 等への大学生の参加呼びかけ
- 大学入学式での啓発
岡山大学環境理工学部、岡山商科大学経営学部、倉敷市立短期大学、
新見公立大学/短期大学、美作大学/短期大学 約 1,000 人にチラシ等を配布した。
- 各市町村成人式での啓発（チラシ配布等）

◎平成 26 年度マイバッグ持参率等アンケート調査 <年代別>

区分	～10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代～	合計
持参率%	14.9%	15.9%	30.7%	42.9%	48.9%	55.3%	46.2%

<普及啓発事業>



カ 平成 27 年度のマイバッグ持参率の目標値

啓発活動を行う上で、目標値を「マイバッグ持参率 50%」とし、効果の検証等の目安とする。

◎マイバッグ持参率等アンケート調査 <マイバッグ持参率の推移>

区分	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度 目標
持参率%	44.1%	45.2%	43.3%	44.5%	46.2%	50.0%

参考：エコビジョン 2020 平成 28 年度目標 70%

キ 啓発資材の作成及び送付

のぼり旗、ポスター、チラシ、ステッカー、レジ袋辞退カード等啓発グッズを作成し、参加事業者（店舗）、市町村等に対し送付する。

また、家庭内で児童から家族へ働きかけてもらうため、環境学習に取り組む小学校 4 年生の児童（県内約 1 万 8 千人）に啓発品(マグネット)を配布する。

ク ホームページやフェイスブックによる広報

レジ袋削減のため無料配布中止やポイント付与等を実施している参加事業者の取組内容を、県のホームページやフェイスブックで紹介する。

ケ レジ袋無料配布中止(有料化)の取組

レジ袋無料配布中止を積極的に行う事業者を広報等で支援するとともに、全県的な実施に向けて、引き続き事業者への働きかけを行っていく。

3 その他普及啓発事業

岡山エコ事業所（一般事業所・小売店・ゼロエミッション事業所）認定制度や認定事業所の取組及び岡山県エコ製品認定制度を広く周知することにより、グリーン調達等の促進を図る。

食品ロスについて、事業者、県民（住民）の実践を促すため、食品ロスの実態や賞味期限と消費期限の正しい理解、フードバンク活動等の各種情報提供を積極的に行うとともに、市町村、消費者団体等を通じて普及啓発を図る。（資料6）

また、マイボトル・マイカップキャンペーン等3R推進につながる各種取組の情報提供を行う。（資料7）